



日本デフバスケットボール協会 育成委員会

デフバスケたまごっち講習会 実施要項

目 的	デフバスケットボール競技を深く教えられる指導者、デフバスケットボールで平等に吹ける審判、サインバスケットボールを正しく理解することを目的とし、さらにデフバスケットボール選手を育てる指導内容と練習内容のモデルとなる内容を盛り込んだ講習会を行なう。
日 程	令和2024年3月某日（某曜日） ～ 某日（某曜日）
会 場	佐知豪邸体育館
宿 泊 先	佐知豪邸 住 所： 連絡先：
実 施 内 容	全体練習①②、ゲーム①②、サインバスケ講習会
スケジュール	別紙記載
参 加 資 格	デフバスケットボールを応援したい者 特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会の理念に賛同する者
参 加 費	10,000円 ※ホテル代、食事代、体育館使用料込み
申 込 先	特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会 育成委員会 育成委員 須田将広 m.suda@jdba.jp
そ の 他	・状況によっては中止の可能性もあるので、その際は連絡いたします。 ・18歳未満（高校生以下）の方は保護者の同意書が必要です。 ・見学のみは無料です。

1日目		
時間	内容	説明
7:00		
8:00		
9:00	準備	自由に使ってもよい (目的はバスケということは忘れずに)
10:00		
11:00		
12:00	受付	
13:00	全体練習① @須田	声なし、手話メインで進める ホワイトボード活用 須田以外のデフコーチでドラフト
14:00		
15:00		
16:00	ゲーム① @須田	デフコーチがいればドラフトでチーム構成 審判への指導も含ませる（参加者全員）
17:00		
18:00	夕食	
19:00	お風呂など自由時間	
20:00	サインバスケット講習会 @須田	会議室で実施 名刺交換もありかもしれない
21:00		
22:00	自由交流	
23:00	就寝	

サインバスケット講習会
<div>・アメリカ視察報告</div> <div>・日本におけるサインバスケットの作り方・考え方</div> <div>・日本におけるサインバスケットの意義を共有</div> <div>・意見交換</div> <div>・今後の展望（特に、どのようにして公開していくか／ホームページやSNS等）</div> <div>・サインバスケットオリジナル教材について</div>

項目	内容	説明
全体ルール	ボールをあげるもしくは注目サインで注目すること	気づかない人がいれば、肩を叩きに行く、床をどンドンする
	1日目は手話オンリー、2日目は日本語禁止	極端な環境をあえて設置することで自分を変えるきっかけをつくる
	補聴器は必ず外す（コートに入る前は徹底する）	国際大会やデフリンピックに向けた対策の一環
	写真動画撮影は必須とする	被写体許可を必ず取ること
	講習会アンケートは必ず回答すること	
全体練習① メニュー	初めまして手話挨拶鬼ごっこ	必ず手話で自己紹介 同じ人に挨拶はしない
	体づくり関連 ストレッチの基礎、リズムジャンプトレーニングなど	リズムジャンプ等は有資格者をお願いする予定
	コート位置をサイン指定してドリブル・シュートドリル 特にドロップとポケットの技術を強化させる（視野確保）	リバウンド、シュートした後のトランジション意識付けもサイン パスはすべてドロップワンハンドで展開すること
	3Dを意識した2人組み合わせドリル	「ボールマンの立っている場所」「カットインした方向」がサインになる ボールマンが来たらドリフトもしくはダイブ、ボールマンが向こうに行ったら
	フロントチェンジなし1on1	スピードではなく、ディフェンスとのスペース（サインあり）を意識 緩急つけながら、「見るべきものを見る」ために視野を確保する狙いも含む 特にキックアウトパスの技術は視野を確保する練習としても取り入れたい
	ミドルポストからの1on1	ロールの重要性を説く （ロールオフ、ロールフェイクなど）
	ファーストブレイクとセカンドアーリー フロント戦術の確認	ここは特にサイン化が重要な箇所である 同時にチームディフェンスの強化にも繋げる
	その他、状況によってはメニュー変更あり	
ゲーム①	ドラフト	デフコーチがいれば、最低2チームでドラフト（選手を選ぶ）
	試合形式は、 7ー3ー7ー3ー7で7分3回／休憩3分のローテ	休憩の間にチームの約束・戦術をサインで共有する時間として3分とする
	試合の合間に、選手同士、コーチ同士で意見交換 5分意見交換→5分チーム会議	自分のチームに意見を取り入れるかどうかは、そのチームの監督次第

2日目		
時間	内容	説明
7:00	起床	
8:00	準備	
9:00	全体練習② @須田	声無し、手話メイン 日本語禁止
10:00		
11:00		
12:00	昼食	お弁当もしくは各自手配
13:00	ゲーム② @須田	前半はチーム練習 後半は試合 帯同審判で参加者にもやらせる
14:00		
15:00		
16:00	自由	自主練習もしくは補足練習とする
17:00		
18:00	解散	完全撤収
19:00		
20:00		
21:00		

項目	内容	説明
全体ルール	ボールをあげるもしくは注目サインで注目すること	気づかない人がいれば、肩を叩きに行く、床をどンドンする
	1日目は手話オンリー、2日目は日本語禁止	極端な環境をあえて設置することで自分を変えるきっかけをつくる
	補聴器は必ず外す（コートに入る前は徹底する）	国際大会やデフリンピックに向けた対策の一環
	写真動画撮影は必須とする	被写体許可を必ず取ること
	講習会アンケートは必ず回答すること	
全体練習② メニュー	3対3（2out1in） UCLA	4out1inの理想形のために、なぜin1人はエルボーより高い位置なのか サインバスケットにどう繋げるかの考察も含む
	4対4（3out1in） P&Rからの、キックアウトからの、リメイク アイズ対策	キックアウトは単なる戦術ではなく、サインバスケットの育成には必要である
	5対5（4out1in） ファストブレイクとアーリー、フロント戦術	速攻戦術をデフバスケットで固めるにはサインバスケットが必須 スピード、方向、タイミングの見極めだけではなく味方の位置もサイン
	その他、状況によってはメニュー変更あり	
ゲーム②	ドラフト	前日で決めたチームそのままいく
	前半はチーム練習 後半はゲームとする	チーム練習は1時間 試合は2時間の予定
	試合形式は、 7ー3ー7ー3ー7で7分3回／休憩3分のローテ	休憩の間にチームの約束・戦術をサインで共有する時間として3分とする
	試合の合間に、選手同士、コーチ同士で意見交換 5分意見交換→5分チーム会議	自分のチームに意見を取り入れるかどうかは、そのチームの監督次第